

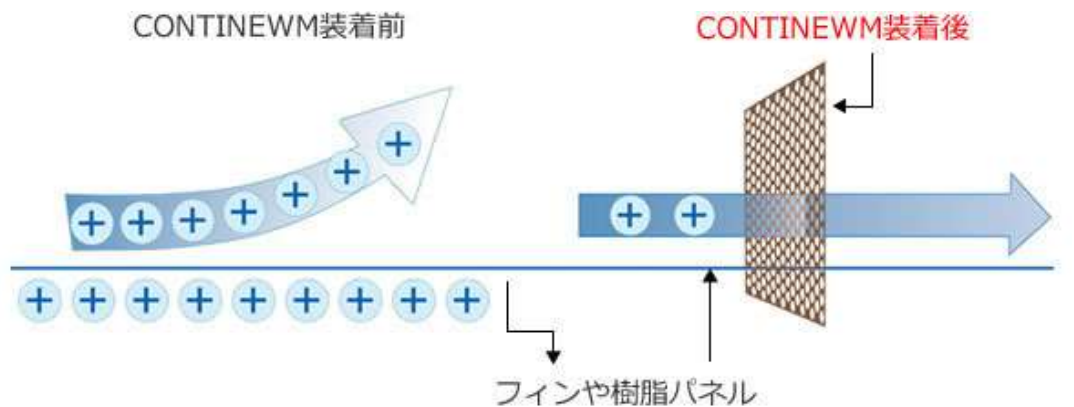
# どうして消費電力が削減できるの？

CONTINEWMは、エアコンの熱交換を妨げる静電気を除去し、無駄な電力消費をなくします。そのメカニズムは2通り。

## 【その1】

エアコン内の熱交換器（フィン）および樹脂製パネル（絶縁体）は、ファンの回転に伴う空気との摩擦により静電気が発生し、プラスに帯電しています。エアコンが帯電すると、空気の流れが本来意図していたものにならず、熱交換効率が低下します。すなわち、プラスに帯電した空気が熱交換器やパネルを通ると斥力（反発力）が作用し、空気は表面から離れていきます。すると、熱の伝導率が低くなり、熱交換効率が悪化します。

常にマイナスに帯電している CONTINEWM はプラスの電荷発生を抑え、無電荷状態の空気に変えます。このことで、エアコンは静電気の影響を受けず、本来意図していた熱交換効率を発揮することができます。



Copyright©CONTINEWM Co.,Ltd.

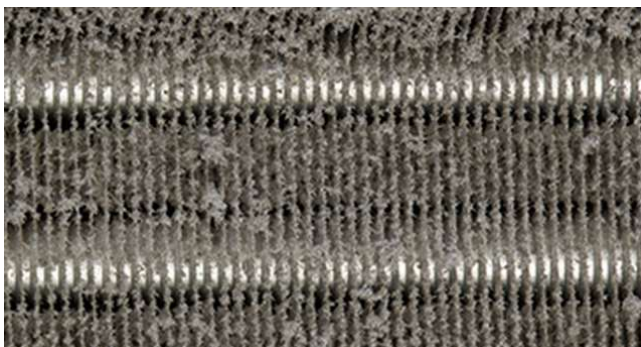
## 【その2】

空気中に漂っているホコリは、ほとんどが静電気を帯びていて、帯電している物質にくっつきます。ホコリがエアコンに吸い込まれると、空気との摩擦によって帯電している熱交換器（フィン）に付着し、溜まっていきます。（左図）これが、熱交換効率悪化の原因となります。

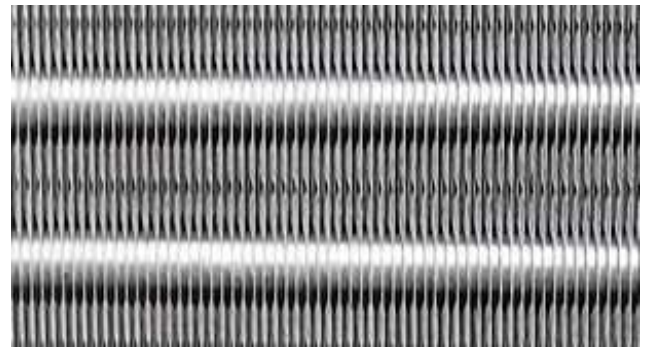
ところが、CONTINEWM 装着後は【その1】によりフィンが帯電しないためホコリが付着しにくくなります。

（右図）したがって、エアコンは本来意図していた熱交換効率を発揮でき、消費電力の削減につながります。

CONTINEWM 装着前 (イメージ)



CONTINEWM 装着後 (イメージ)



この2つの作用で、エアコンは無駄な電力消費がなくなり（省エネ）、本来の性能を発揮できるようになります。

### CONTINEWM® の表面電位測定



使用機器： Monroe Electronics社製(米国)表面電位測定器  
本体： Isoprobe-model 244  
プローブ(センサー)： model1017

### 【副次効果】

ニオイの元は空気中に拡散した目に見えないくらい微小な物質ですが、ニオイ物質や汚れ物質が空気中を浮遊するのは、これらがプラスに帯電することにより空気中でお互いに反発していることが原因だと言われています。しかし、マイナスに帯電している CONTINEWM に触れると無電荷状態となり空気中での浮遊が抑えられ、ニオイを感じにくくなります。

このようにして臭気や粉塵が少なくなった空気が空間全体に行き渡り、自然に「居心地のよい環境」がつけられていきます。エアコンが稼働している限り、「省エネ」と「快適な環境」が同時にずっと続いていきますので、まさに**コンティニューム（連続）**と言えます。